

環境報告書[®]S

環境報告書 S 2022

- 会社概要
- 事業内容
- 環境理念/環境基本方針
- 環境管理組織
- (株)兼平製麺所の取り組み
- 環境活動の実績報告
- お問い合わせ



株式会社兼平製麺所

環境報告書Sとは岩手県及び岩手県環境保全連絡協議会が推奨する、短く(Short)、簡単で(Simple)、概要的な(Summary)環境報告書です。

■ 会社概要

- ・社名 株式会社兼平製麺所
- ・代表者氏名 代表取締役社長 兼平賀章
- ・所在地 〒020-0811
本社工場 岩手県盛岡市川目町23-17
第2工場 岩手県盛岡市川目町23-15
- ・TEL/FAX tel:019-622-3029/fax:019-622-3032
- ・年間売上高 3886百万円（2021年度）
- ・Webページ <http://www.kanehira.co.jp>



■ 事業内容

- ・生麺、ゆで麺（中華・うどん・和そば）、調理麺、惣菜の製造

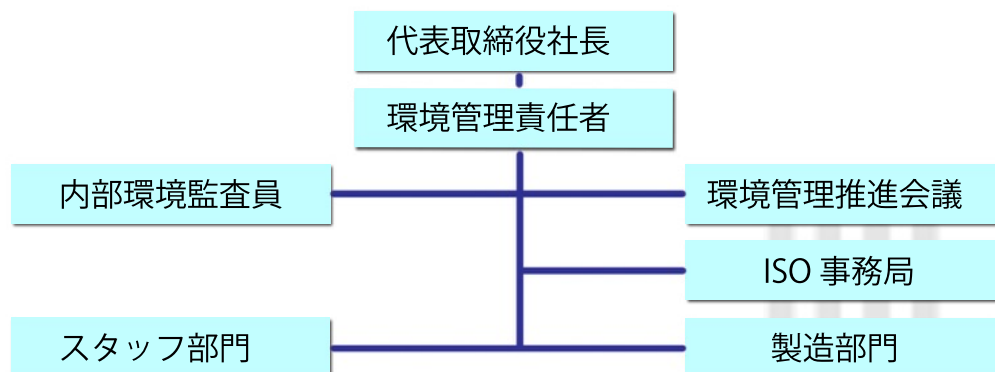
■ 環境理念/環境基本方針

- ・環境理念 世界の食糧事情を思うとき、私たちは常に食べ物を大切にする気持ちを忘れてはなりません。同時に食材や使用する資源を有効に活用し、環境にも配慮していくことを新たに誓います。
- ・環境基本方針 ①食の安心・安全に加え、環境への配慮を常に怠らない姿勢を貫きます
②評価項目を常に明確にし、地域社会から環境に配慮している企業として信頼されるようにつとめます
③全社員は環境の大切さを理解し、環境負荷を減らすために計画・実行し目標を達成していきます
④取り巻く地域・社会の良きリーダーとなることを目指します

■ 環境管理組織

当社は下に示す組織で環境活動を行っています。環境理念・環境基本方針は、社長から環境管理責任者・環境管理推進会議を通じて全従業員に周知されます。環境活動の実際は事務局・スタッフ部門・製造部門で実行され、その実績は環境管理責任者が承認し、環境管理推進会議で全部門に報告されます。

内部環境監査員は環境活動の運用に対して監査を行い、場合により該当部門に改善を求めます。これらの実績や改善内容は全て環境管理責任者から社長に報告されます。



環境管理推進会議は毎月行われ、社長以下、所属長が出席する重要なコミュニケーションの場となっています。この会議では環境活動の実績と評価を報告し、改善の提案や情報の共有などを行っています。

兼平製麺所の取り組み

岩手・盛岡純米めんの開発



岩手・盛岡産「ひとめぼれ」使用。

純米めん

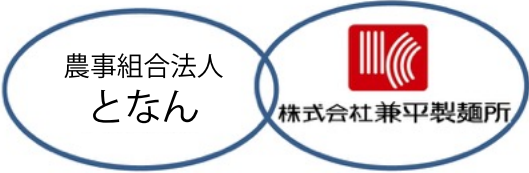
写真は調理例になります。

岩手・盛岡 [ノングルテン純米めん]



食物アレルギー
特定原材料等
27品目を使用して
おりません。

- 農水省「農村漁村プロジェクト支援交付金」を受けています。
(新規需要米生産製造連携関連施設整備事業)
- 農水省「資産製造連携事業計画」の認定を受けています。
- 特別栽培米「ひとめぼれ」を使用し弊社こだわりの黄金比で仕上げた「お米のめん」です。



岩手・盛岡純米めんの製造・販売・普及活動を通じて、休耕地の解消や地産地消を推進するとともに食料自給率の向上と1次・6次産業の活性化を促進します。

さらには盛岡の経済活動を活性化させる事により、岩手・東北の活性化に繋がりたいというねがいが込められています。

◇かねひら製麺所の「おいしさの黄金比率」で作った、つるつる・もちもち新食感のお米の麺です。

付属のつゆに「えごま醤油つゆ」を採用し、小麦・大豆・そば粉・卵・乳のアレルギーを持つ方にも安心してお召上がり頂けます。

◎2食入り(えごま醤油つゆ付) KANEHIRA 株式会社兼平製麺所



地域の有名店とのコラボ商品



環境活動の実績報告

工場内外の照明をLED化、情報端末の活用によるコスト削減を図りました



○第1工場と第2工場の蛍光灯約1200本と外照明（水銀灯）を全てLED化しました。これにより電力消費を約2/5に削減できました。

○業務連絡用FAXをタブレットに置き換えることで、資源の削減と待機電力の削減を行いました。



バイオマスボイラー・蒸気発電機・排水施設（膜分離活性汚泥法）



バイオマスボイラー1号機



蒸気発電機



排水施設

- 蒸気はバイオマスボイラーと補完用重油ボイラーで作られ、余剰蒸気は蒸気発電機に回されます。
- 工場排水は排水処理施設に送られ、河川放流水質基準に適合するまで浄化され、梁川に放流されます。

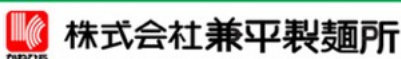


J-クレジット認証を取得しました

その他の主な取り組み

- 作業効率の改善活動を通じて、資源やエネルギーの有効な利用とその削減に努めています。
- ダンボールを自社で運搬しリサイクル業者へ引き渡すことで、廃棄物を有価物にしています。

環境報告書Sについてのお問い合わせ



担当 : 総務部/ISO事務局 小泉淳一
 TEL : 019-622-3029
 FAX : 019-622-3032
 E-Mail : koizumi@kanehira.co.jp